

練習問題-「インターネットの光と影」Ver6. (50問)

序章 インターネットと情報

0-1 次の文章は、インターネットについて述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 双方向のコミュニケーションが、インターネットで初めて可能になった。
- 2) 災害等の緊急時に安否情報や生活情報の確認のために、インターネットを利用する。
- 3) 情報検索や情報発信のために、インターネットを利用する。
- 4) インターネットを利用した教育が盛んになった。
- 5) 遠隔地で起こっている情報を手に入れることが可能である。

0-2 次の文章は、情報の特性について述べたものである。正しいものを一つ選びなさい。

- 1) ある特定の情報について考えるとき、その情報の価値は、すべての人に共通である。
- 2) 情報を発信する場合、情報の受け手の状況を考慮する必要はない。
- 3) 情報は、「もの」と同様に第三者に渡すと自分の手元から完全になくなる。
- 4) デジタル情報は、一般に複製が容易である。
- 5) デジタル情報は、ネットワーク上で伝播しにくい。

0-3 次の文章は、インターネットについて述べたものである。正しいものを一つ選びなさい。

- 1) インターネットは、個人の自由な利用を認めていない。
- 2) インターネットは、利用者一人ひとりの努力ではすべての問題を解決することはできない。
- 3) インターネットは、経済活動では多く用いられているが、教育や文化面では利用されていない。
- 4) インターネットの利用によって、消費者自らが商品の情報を検索・収集し、選択して商品を購入する形態が不可能になる。
- 5) インターネットは、限られた地域や社会内部のネットワークを意味している。

0-4 次の文章は、インターネットを用いて情報を得る場合の情報の信頼性について述べたものである。適切なものを一つ選びなさい。

- 1) インターネット上の情報は吟味されたものが多く、信頼度が高い。
- 2) 景気動向を示すデータなどは、多少間違っているとしても、経済活動に大きな影響を与え

ることはない。

- 3) 同じデータであるならば、データの表現方法を変えても、受信者の受け止め方は変わらない。
- 4) 大きなテレビ局や新聞社などから出された情報であるならば、絶対に正しい。
- 5) 一つの情報源からの情報を鵜呑みにするのではなく、複数の情報源からその情報を調べて確かめる必要がある。

0-5 次の文章は、インターネット社会のメディアについて述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) メディアを利用して発せられる情報は、変形される場合がある。
- 2) 政府や地方自治体は、正確な情報を発信することが求められる。
- 3) 報道機関は、正確な情報を発信することが求められる。
- 4) 政府や地方自治体からの情報は、すべて正しいものであり、信じることができる。
- 5) メディアから伝達された情報を読み解くために、メディアリテラシーが必要である。

1章 インターネットと個人情報

1-1 次の項目のうち、電気通信事業者などによる収集が原則として禁じられている顧客の個人情報を一つ選びなさい。

- 1) 氏名
- 2) 住所
- 3) 電話番号
- 4) 本籍地
- 5) 職業

1-2 次の文章は、個人情報の管理に関して述べたものである。状況や行為が、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 携帯電話のメールアドレスをWebページに載せておく。
- 2) 機密文書や住所録を表示するディスプレイはのぞき見できないようにする。
- 3) 機密文書や住所録をプリントアウトする場合、他人に見られないようにする。
- 4) プロバイダ会社の者から本人にパスワードを尋ねる電話がかかっても教えなかった。

5) パスワードを忘れたので、システム管理者に聞いたが、わからないと回答された。

1-3 次の文章は、インターネット利用上の自己情報の管理について述べたものである。正しいものを一つ選びなさい。

- 1) 電子メールは傍受されにくい通信手段なので、クレジットカードの番号をメッセージにしてネットワーク上に流しても安心である。
- 2) 自分が使用している IP アドレスなどの情報は、技術レベルで必然的に取得されているので、偽名を使っても個人が特定されることはありうる。
- 3) Web サイトでは、訪問者がサイト内でどのような行動をしたかを記録できないため、自己情報が漏れることはない。
- 4) インターネットは通常、ネットワーク管理者やプロバイダが厳重に監視・管理しているので、自己情報の管理を行う必要はあまりない。
- 5) Web ページのプレゼントやアンケートなどは、その提供者に重い責任が負わされているので、個人情報を記入しても、他に利用されることはない。

1-4 次の文章は、プライバシーについて述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) プライバシー権とは、個人の私的領域に他人を無断で立ち入らせない権利を意味する。
- 2) プライバシー権とは、自己に関する情報をコントロールする権利を意味する。
- 3) 名前や住所、電話番号など、すでに電話帳などで公開されている個人情報でも、他人が別のところで公開したら問題になる場合もある。
- 4) サイバー電子モール（電子商店街）では、サイト内の顧客の行動を経営分析の資料として記録しているのが普通である。
- 5) 掲示板は匿名性が高く、誹謗中傷を受けても実害はないので、無意味な議論を行ってもかまわない。

1-5 個人情報保護法で個人情報取扱事業者の義務と定められていることで、誤っていることを一つ選びなさい。

- 1) 個人情報を不正の手段により取得してはならない。
- 2) 利用目的の達成に必要な範囲を超えて個人情報を取り扱ってはならない。
- 3) 個人情報を取得した後は、更新してはならない。
- 4) 個人情報を安全に管理する措置を講じなければならない。
- 5) 本人の求めに応じて、保有している個人情報を開示しなければならない。

1-6 次の文章は、個人データや保有個人データの管理について述べたものである。間違っているものを一つ選びなさい。

- 1) 特定の個人情報をコンピュータを用いて検索できるようになったものは、個人情報データベースである。
- 2) 印刷された名簿などは、個人情報データベースではない。
- 3) 個人情報データベースを事業に用いている者は、個人情報取扱事業者である。
- 4) 個人情報データベースを構成する個人情報を、個人データと呼ぶ。
- 5) 個人情報取扱事業者が管理する個人データを、保有個人データと呼ぶ。

2章 インターネットと知的財産権

2-1 次の文章は、知的財産権について述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 特許権は、発明を保護するものである。
- 2) 意匠権は、物品のデザインを保護するものである。
- 3) 口述権は、外国語で書かれた著作物を翻訳する権利である。
- 4) 公衆送信権は、著作物をインターネット等で発信する権利である。
- 5) 頒布権は、映画の複製物を譲渡（または貸与）することを制限する権利である。

2-2 次の項目で、著作権の中に含まれない権利を一つ選びなさい。

- 1) 展示権
- 2) 翻案権
- 3) 商標権
- 4) 演奏権
- 5) 上映権

2-3 次の項目で、著作権が認められないものを一つ選びなさい。

- 1) 音楽
- 2) 法令
- 3) 映画
- 4) 地図・図形
- 5) 小説・脚本

2-4 サークルの勉強会で、専門書をコピーして資料として配布しようと考えている。著作権の観点から、次の項目の中で、適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 少人数なら、すべてのページをコピーして配布しても著作権を侵害しない。
- 2) コピーしたページ数がわずかなら、人数に関係なく、著作権を侵害しない。
- 3) 勉強という目的であるなら、いくらでもコピーは認められている。
- 4) 出版物の複製に関わる手続きを行う団体に連絡をとり、著作権料を支払えばよい。
- 5) 専門書であるので、はじめからコピーは認められている。

2-5 次の文章は、Web の公開に関して述べたものである。適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 他人の Web ページから画像をコピーして、自分の Web ページに貼り付けても許される。
- 2) 他人の Web ページから画像をコピーすると問題があるが、音声ならコピーしてもかまわない。
- 3) 他人の Web ページをコピーして自分で改変すれば、自分の Web ページに貼り付けてもかまわない。
- 4) 自分の Web ページに、ディズニーのキャラクタを貼り付けて公開してもよい。
- 5) 非公開で自分だけが利用するなら、他人の Web ページの画像をダウンロードしても許される。

2-6 次の文章は、音楽に関する著作権および著作隣接権について述べたものである。正しいものを一つ選びなさい。

- 1) テレビの歌番組から流された歌をインターネットに配信すると、歌手のみならず、放送局の著作隣接権も侵害することになる。
- 2) テレビの歌番組を録画した映像ならば、一度公共放送に流しているので、インターネットを通じて配信しても放送局の著作隣接権を侵害することにはならない。
- 3) CD レコードをインターネットで配信する場合、レコードを制作した会社には著作隣接権はないが、著作権はある。
- 4) 著作権のある音楽であっても、楽譜を見て自分で演奏して録音したものならば、インターネットで配信してもかまわない。
- 5) 自分で購入した CD レコードの音楽をインターネットで配信しても問題にならない。

3章 インターネットと生活

3-1 次の文章は、携帯電話やスマートフォンについて述べたものである。誤っているもの

の一つを選びなさい。

- 1) 携帯電話やスマートフォンは、紛失した場合の影響が大きいので管理を慎重に行う必要がある。
- 2) スマートフォンは、一般的に購入後に様々なアプリケーションを追加することができる。
- 3) 携帯電話やスマートフォンでは、緊急防災情報を受信することができる。
- 4) スマートフォンに追加することができるアプリケーションは、有益なものばかりである。
- 5) スマートフォンは携帯電話会社のインターネット接続サービスを使う方法と、無線 LAN を使う方法がある。

3-2 次の文章は、子どもがインターネットを利用することにより巻き込まれる可能性のあることを説明した文章である。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 学校裏サイトでは無責任なうわさ話や誹謗中傷が書き込まれることがある。
- 2) 送信者のアドレスを偽装して、嫌がらせのメールを送信する、ネットいじめの手口がある。
- 3) インターネットにおける犯行予告は、模倣犯が多い。
- 4) ネットいじめは、これまでの現実のいじめと違い、精神的な苦痛を与える可能性は少ない。
- 5) インターネット掲示板にプライバシー情報を無断で公開するような嫌がらせが発生する可能性がある。

3-3 次の文章は、電子図書館について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) ネットワークを通じて、家庭などにいながらにして図書の検索・閲覧ができるように整備されたシステムである。
- 2) 日本でもいくつかの電子図書館のシステムが稼働している。
- 3) 電子図書館では公共機関が発行したすべての刊行物を閲覧することができる。
- 4) 多くの電子図書館が取り扱っているのは、おもに学術論文や公共機関の発行している無料冊子および著作権の消滅した文学作品である。
- 5) 電子図書館によっては、検索画面の Web ページを用意している。

3-4 次の文章は、電子美術館・電子博物館について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) すべての電子美術館・電子博物館は有料である。
- 2) 電子美術館・電子博物館では所蔵物の姿をデジタル化し、Web ページで公開している。
- 3) 実際の所有物の展示によって起こる劣化を避けることができる。
- 4) 所有物のあらゆる方向から見た姿がデジタル化されている場合、実際の展示では見られない姿も鑑賞することができる。
- 5) 著作物を保護するために電子透かし技術を導入している電子美術館がある。

3-5 次の文章は、電子書籍について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 出版社は在庫を抱える必要がなくなった。
- 2) 少数の出版ができるようになった。
- 3) 読書端末の画面が小さくてもすべての電子書籍に対応できる。
- 4) 絶版書籍や品薄書籍も入手することが可能である。
- 5) 電子書籍では文字や写真だけでなく、音と共に動画で百科辞典や図鑑を視聴できる。

4章 インターネットとビジネス

4-1 次の文章は、インターネットショッピングにおける企業側のメリットをあげたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 実店舗がいない。
- 2) 全世界の顧客を相手に商売ができる。
- 3) カタログには掲載量に限度があり、載せられないような商品でも、インターネットなら多数掲載可能である。
- 4) コンピュータさえあれば、商売を始められるので、初期の出費が少なく済む。
- 5) お客様の顔を見ながら商売ができる。

4-2 次の文章は、インターネットショッピングにおける消費者側のメリットをあげたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 店に行かなくても自宅から買い物ができる。
- 2) 24時間いつでも買い物ができる。
- 3) 商品の品質について信頼することができる。
- 4) 海外の商品も手軽に購入できる。
- 5) 商品の価格比較が簡単である。

4-3 次の文章は、インターネットショッピングを行う際、ユーザが気をつけるべき項目をあげたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 代金先払いの購入はできるだけ避ける。
- 2) 業者にカード番号などの個人情報をメールで送る。
- 3) 業者の名称、住所、電話番号、責任者の表示がない Web ページからは購入しない。
- 4) 万が一トラブルに巻き込まれた時に備えて、やりとりしたメールや代金振り込みの控えは保存する。
- 5) 通常の売買で法律に触れるようなものは購入しない。

4-4 次の文章は、インターネット上でのビジネス取引で起こりうるトラブルをあげたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 誰かが他人の ID を使って、なりすましをして、注文した。
- 2) 代金を支払ったのに、商品が届かず、相手が雲隠れした。
- 3) 誤って通常よりもかなり格安な価格を商品につけてしまった。
- 4) 返品をしようとしたところ、店員の態度や言葉遣いがよくなく、対応が悪かった。
- 5) ID やパスワードが第三者に盗まれる。

4-5 次の文章は、ネットバンキングの特徴について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 銀行側のデメリットとして人手がかかりすぎることがある。
- 2) 窓口や ATM の混雑の緩和につながる。
- 3) 口座の預金の確認や振込がネット上で行える。
- 4) 振り込みの手数料が安くすむ。
- 5) ネット上で取引状況がわかるため、無通帳の口座を設けている銀行もある。

5章 インターネットと教育

5-1 次の文章は、ネットワーク社会で必要な能力や態度をあげたものである。必ずしも必要でないものを一つ選びなさい。

- 1) インターネットの特徴の理解および基本操作の習得。
- 2) 情報の交換・収集・発信の手段として、電子メール、Web ページの活用。
- 3) インターネット上の情報の正しい評価と必要な情報の収集・選択。
- 4) 暗号化アルゴリズムの理論に対する数学的な理解。

5) 情報検索のための方法と正しい引用の仕方。

5-2 次の文章は、有害情報について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 子どもたちにとって、性表現、暴力表現、広告・勧誘などは有害情報となりうる。
- 2) 有害情報を排除する対策として、レイティングやフィルタリングがある。
- 3) チェーンメールで送られてくる情報はすべて有害情報である。
- 4) レイティングとは、情報のラベル付けを行うことである。
- 5) フィルタリングとは、レイティングのある段階以上の情報を排除する技術である。

5-3 次の文章は、eラーニングの特徴について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 自宅からでも学習ができる。
- 2) レベルに合わせた学習ができる。
- 3) 学習の過程や成績が保存できる。
- 4) ほかの学習者とコミュニケーションができる。
- 5) 使用できる教材は文字情報と写真や図のみである。

5-4 次の文章は、インターネットと生涯学習について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) インターネットを用いた生涯学習はおもに高齢者のためにシステムが設計されている。
- 2) 学校や企業、行政が連携して生涯学習のための取り組みが行われている。
- 3) eラーニングを用いて、高等教育における授業だけでなく、企業の社員教育や生涯学習などで取り入れている。
- 4) 生涯学習におけるeラーニングではキャリアアップのための学習をすることができる。
- 5) 就学情報や進学情報をインターネットで検索することが容易にできる。

5-5 次の文章は、子どもがインターネットでのトラブルに巻き込まれるのを防ぐことを説明した文章である。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) インターネット利用に関しても、子どもは成人より責任能力が小さいと見なされている。
- 2) 情報モラル教育をきちんとすれば、子どもを一人でインターネットを利用させても

問題はない。

- 3) 携帯電話を使用している子どもに、トラブルに巻き込まれないようにアドバイスしてもトラブルを皆無にすることは困難である。
- 4) パソコンを使用している子どもに、トラブルに巻き込まれないようにアドバイスしてもトラブルを皆無にすることは困難である。
- 5) インターネットにおける犯罪行為に巻き込まれるのを未然に防ぐために、インターネットの匿名性の特徴をよく理解しておく必要がある。

6章 インターネットとコミュニケーション

6-1 次の文章は、電子メールの利用についての例である。「勤め先の会社の住所が変わったので、その案内を学生時代の友人50人に、アドレスを羅列して一斉送信した」。この場合、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 親しくない受信者もいるので、お互いのメールアドレスがわかることは問題である。
- 2) 自分の友人同士なので、お互いのメールアドレスをわかることは問題ではない。
- 3) 受信者が受け取る情報に、すべての受信者のメールアドレスが含まれる膨大なヘッダ情報がある。
- 4) 送信者へ返信する時に、受信者が誤って全員に返信する可能性がある。
- 5) 受信者によっては不必要な情報であり、なぜそのようなメールが届いたのか不審に思われる。

6-2 次の文章は、電子メールの利用についての例である。「AさんがBさん、Cさん、Dさんの3人に電子メールを送るとする。BさんのメールアドレスをTo:の欄に、CさんのメールアドレスをCc:の欄に、DさんのメールアドレスをBcc:の欄に入れて発信した。」この場合、誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) AさんのアドレスはBさんにわかる。
- 2) BさんのアドレスはCさんにわかる。
- 3) CさんのアドレスはDさんにわかる。
- 4) DさんのアドレスはCさんにわかる。
- 5) CさんのアドレスはBさんにわかる。

6-3 次の文章は、ネットケットについて述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 他人のプライバシーを尊重する。

- 2) 個人宛のメールを第三者に転送するときは、許可を得てからにする。
- 3) 公序良俗に反する内容や感情的な内容にならないように気をつける。
- 4) ファイルを添付するときは、相手が解読可能か考える。
- 5) 電子メールは途中に障害さえなければ瞬時に相手先に届くので、速やかな相手の返信を期待する。

6-4 次の文章は、メーリングリスト(ML)のルールやマナーについて述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) MLで会合の案内を受け取った場合は、ML宛てに出欠の返事を出すのが望ましい。
- 2) メール本文はできるだけテキスト形式が望ましい。
- 3) MLに登録したら定期的にメールをチェックする。
- 4) サブジェクトの頭に用件の特徴を表すキーワードを書くのが望ましい。
- 5) MLで大容量の添付ファイルを送るのは避けた方がよい。

6-5 次の文章は、Webページを制作・管理する上で注意すべき事項について述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) リンクを貼るときはリンク先の相手にひとこと断ってから貼るようにする。
- 2) 「ミッキーマウス」などの商標登録されているキャラクターでも自分で描けば、知的財産権の侵害にあたらないので、自分のWebページに掲載してもよい。
- 3) 定期的にリンク先をチェックして、確実にリンク先にたどりつけるかの確認をする。
- 4) 自分が制作したWebページは、更新・削除の必要がないかなど内容を定期的にチェックする。
- 5) 自分のパソコンと異なる環境下でも、自分の制作したWebページが読めるかを確認する。

6-6 次の文章は、Webページを制作する際に注意すべき事項について述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) テキストだけが画面いっぱいに広がるページを作る。
- 2) フォントの大きさや色を変えて要点を強調する。
- 3) 画像を効果的に使って表現する。
- 4) 画像の表示ができない場合に備えて、画像の代わりに表示する「代替テキスト」の設定を心がける。
- 5) 住所・氏名・電話番号の公開は、できるだけ避ける。

6-7 次の文章は、Webページのユニバーサルデザインやアクセシビリティについて述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 色が区別しにくい人のために、配色や背景色と文字の色のコントラストに配慮する。
- 2) Webページを読み上げるソフトウェアの利用に配慮して、文章の配置に気をつける。
- 3) 高齢者に対しては文字の大きさに配慮する。
- 4) Webページを読み上げるソフトウェアの利用に配慮して、画像の配置に気をつける。
- 5) 視覚障害者が見ることのできない画像は、視覚障害者に対する配慮は必要ない。

6-8 次の文章は、遠隔コミュニケーションについて述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) オンラインゲームなどでは、ボイスチャットをしながらプレイをすることができる。
- 2) ネットワーク技術の進歩によって、ボイスチャットやビデオチャットが可能になった。
- 3) 遠隔コミュニケーションは、距離が離れているため、実際の生活に影響をおよぼすことはない。
- 4) ビデオ会議システムでは、パソコンの画面を参加者が共有することができる。
- 5) ビデオ会議システムを利用した遠隔医療のサービスが行われている。

7章 インターネットと犯罪

7-1 次の項目は、「不正アクセス禁止法」にふれる行為について記述したものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 他人のパスワードを無断で用い、Webページの情報サービスプログラムを書き換える行為。
- 2) Webページの情報提供サービスに対して、ユーザになりすまして大量のアクセスを行う行為。
- 3) Webページに嘘の情報を載せる行為。
- 4) 国内外の他のコンピュータを中継して、無権限でコンピュータに侵入する行為。
- 5) 学校や企業のネットワークシステムの情報コンセントに接続して、ネットワーク管理者になりすまして無断で使用する行為。

7-2 次の文章は、「なりすまし」について述べたものである。この被害にあわないようにするための行為として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 定期的に電子メールのパスワードを変更している。

- 2) 誕生日など他人が容易に類推できるパスワードにしていない。
- 3) 電子メールのパスワードは、自動保存しないで、接続するときに常に入力している。
- 4) ID とパスワードの盗難もあるので、それらの管理には十分注意している。
- 5) ネットワークにコンピュータを接続したまま、トイレに行くために席をはなれる。

7-3 次の文章は、不正アクセスなどコンピュータ犯罪に関連する事項について述べたものである。正しいものを一つ選びなさい。

- 1) 他人になりすまして、ネットワークのコンピュータに接続する行為は、不正アクセスではない。
- 2) ネットワークシステムのプログラムや環境の不備をセキュリティホールという。
- 3) 興味本位で Web ページ上のボタンをクリックしただけで、利用契約を結んだことにして、不当に料金を請求しようとすることをワンクリック詐欺という。
- 4) サーバ内のファイルを削除したり、機能を停止したりすることを「ハッカー&クラッカー」という。
- 5) 他人のユーザ ID やパスワードを不正に入手するために、企業や金融機関の Web サイトに似せて作られた Web サイトのことをハッキングサイトという。

7-4 次の文章は、ネットサーフィンなどでの注意例を述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) 薬局で入手できないような医薬品が Web ページで販売されていたが、購入しなかった。
- 2) チャットで悩み事相談に答えてくれる人がいたが、その真意を確認できないので信用できなかった。
- 3) 個人の Web ページで販売されている健康食品や薬品なので、安易に購入しなかった。
- 4) 日本国内では手に入らない商品が国外の Web ページに掲載されていた。日本の法律では問題がありそうなので、仮名で購入した。
- 5) 掲示板などに掲載されている商品は、違法物の可能性があったので、手を出さなかった。

7-5 フィッシング詐欺などの犯罪に巻き込まれないために気を付けることで、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) インターネットでの取引は、迅速に行うことを心がける。
- 2) インターネットでの取引について、正確な知識をもつ。
- 3) 本物の情報と偽物の情報を見分ける力を身につけておく。

- 4) パスワードなどを扱うサイトの場合、通信が暗号化されているか確認する。
- 5) 取引先の Web ページなどで、内容をよく確認する。

8章 インターネットとセキュリティ

8-1 次の文章は、セキュリティ対策や認証について述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) ネットワーク上では、入力されたユーザ ID やパスワードの文字を盗まれることはない。
- 2) パスワードを入力する認証の代わりに生体認証の技術が開発された。
- 3) バイオメトリクス認証とは、人間の身体的特徴などの生体情報を用いて行う個人認証の技術である。
- 4) データや情報を盗み出される可能性に備えて、暗号化する技術がある。
- 5) 静脈認証は非接触で本人認証を行うことができるため、コンピュータやネットワークへのログインなどだけでなく銀行の ATM などに利用されている。

8-2 次の文章は、コンピュータウイルスの特徴や注意事項について述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) コンピュータウイルスやセキュリティ関連の Web サイトで情報を収集する。
- 2) 心当たりのない電子メールや添付ファイルはウイルスチェックをかけて開く。
- 3) コンピュータウイルスに感染しているファイルは破棄するか、セキュリティ対策ソフトで修復する。
- 4) 出所不明な USB メモリや CD に記録されたファイルは、安易に開かない。
- 5) ファイルのバックアップを常にしておくと、コンピュータウイルスに感染する心配はない。

8-3 次の文章は、スパイウェアの特徴や注意事項について述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) スパイウェアによって、不要なポップアップ広告が表示されることがある。
- 2) スパイウェアによって、ブラウザの設定が勝手に変更されることがある。
- 3) スパイウェアによって、OS の不具合都合が報告される。
- 4) ソフトウェアをインストールする場合は、利用許諾などをよく読み、不審なソフトウェアをインストールしない。
- 5) キーボードの操作を記録して、犯罪に利用するスパイウェアがある。

8-4 次の文章は、マルチメディアの著作権保護について述べたものである。不適切なものを一つ選びなさい。

- 1) マルチメディア情報の著作権を保護する技術的な方法として、電子透かし技術がある。
- 2) 電子透かし技術とは、著作権情報などを著作物に埋め込むことである。
- 3) 電子透かし技術では、著作物のもとの情報（テキストデータ、静止画、動画、音声）の特性により、異なる埋め込み手法が用いられる。
- 4) 電子透かしが入っているファイルは、印刷やコピーの許諾が得られている。
- 5) 著作権保護のために電子透かし技術を利用した電子図書館がある。

8-5 次の文章は、電子署名について述べたものである。誤っているものを一つ選びなさい。

- 1) 盗聴と改ざんのリスクに対しては、暗号化技術やその応用である電子署名を用いて防御できる。
- 2) 身元を確認する技術を電子認証といい、フィルタリング技術を応用した認証技術である。
- 3) 自分の公開鍵に電子署名を施すことによって、信頼性を高めることができる。
- 4) なりすましを防ぐための本人確認のためには電子認証のシステムが必要である。
- 5) 電子署名を発行・保存・配布・管理する機関を認証局（電子認証局）という。